

長野県松本市:人口約24.3万人(H27)↘約21.6万人(H47)

<健康寿命延伸都市・松本>

6つの健康づくり
(人、生活、地域、経済、
環境、教育・文化)

<豊富な資源>

三ガク都
(岳都・学都・楽都)

上高地



旧開智学校



松本フェスティバル



<成長可能性都市ランキング>

(野村総研2017)

- ・移住者にやさしく適度に自然がある環境で仕事ができる
- ・子育てしながら働ける環境がある

**総合8位
ポテンシャル6位**

松本城

「住む人」と「訪れる人」にとって魅力と活力にあふれる都市

歩いてまわれる松本城周辺

○松本周遊バス・公共レンタサイクル

- ・H29に周遊バス(タウンズニーカー)を再編増便し、**前年比288%の利用者増**。
- ・公共レンタサイクル(すいすいタウン)の導入、道路占用許可特例によりサイクルポートを設置。H29統一車両導入で、**前年比190%の利用者増**。



○パークアンドライドで松本駅へ

- ・平田駅など7箇所、計268台のパークアンドライド駐車場を整備。

○駐車場配置適正化区域を設定

- ・松本城や松本駅等に囲まれた中心市街地の周縁部(フリンジ)に路外駐車場を集約することで、自動車交通量を抑制。(H30年度に居住誘導区域とあわせて設定予定。)

- ▶ H37までに、公共交通利用者数 約2割増加・自動車分担率 68.5%(H20)⇒61.8%(H37) (6.7%減)

市内第2の駅周辺の機能充実

○私立高等学校の移転整備

- ・都市機能誘導区域外から区域内の村井駅前へ移転。



○まつもと医療センターの機能統合

- ・耐震基準を満たしていない松本病院と病棟建替が必要な中信松本病院の診療機能を一本化。

○村井駅とその周辺の整備

- ・東西自由通路・駅前広場の整備とあわせて周辺道路を改良。

- ▶ 約5年間で、駅利用者数 1割増加



期待される効果

○居住誘導区域内の**人口密度(45人/ha)**を維持○まちなか**歩行者数を33%増加**

まちのにぎわい

○信濃毎日新聞の移転

- ・松本本社を誘導区域外から移転。
- ・市民や建築家などによるWSで市民意見を募り、ホールを整備。市民の交流を図る。



新社屋イメージ

○博物館機能の統合

- ・拠点地区の市営駐車場を廃止し、基幹博物館を整備。市が所有する本館1と分館14の合計15施設の収蔵物を集約することで、段階的に床面積を削減。



基幹博物館イメージ

郊外部等への対応

○地域包括ケアシステム・松本モデル

- ・市内の全35地区にある拠点(地域づくりセンター)を最大限に活かし、誘導区域外でも安心して暮らせる仕組みを構築。

○公営住宅の長寿命化・住環境の改善

- ・需要を踏まえて老朽化団地等の用途廃止(10年間292戸減)。用途廃止する住戸の5割が居住誘導区域外。今後も居住誘導区域との整合を図る。

- ▶ 公営住宅の維持管理費 1.6億円/年削減
公共施設総床面積をH57年度までに23万㎡削減

- 各都市の立地適正化計画作成の意向を確認し、意向に即して個別の働きかけ実施中
- 都市計画区域を有する市区町村(1374)のうち、2015年から2030年の15年間で、人口が20%以上減少する見込みの都市

【当初】 287都市(H25.3社人研人口推計) ⇒ 【最新】 412都市(H30.3社人研人口推計)

